

シュウレイ しわ粒の発生が少なく大粒・良質で、蛋白質含有率が高く、耐倒伏性を有します。「エンレイ」に比べダイズモザイク病および紫斑病抵抗性が強いいため、褐斑粒や紫斑粒の発生が少ない品種。

1 特徴

- ・成熟期は「エンレイ」より5日遅く、「タチナガハ」より3日早い中生の晩で、収量は育成地では「エンレイ」よりやや多収、普及見込みの富山県では「エンレイ」と同程度です。
- ・「エンレイ」より耐倒伏性が優れ、最下着莢高が高く、「タチナガハ」に比べ青立ちの発生が少ない。
- ・しわ粒（ちりめんじわ）の発生が「エンレイ」に比べて少なく、「エンレイ」より大きい大粒で、外観品質に優れる。ダイズモザイク病に強く、紫斑病にやや強いいため（表2）、褐斑粒および紫斑粒の発生も少ない。
- ・子実の蛋白質含有率が高いため豆腐原料に適しているほか、煮豆、味噌に適します。

2 育成地および普及見込地帯における試験成績（平成2006～2009年の平均値）

項目	育成地（長野県野菜花き試験場）						富山県	
	標播（6月1日播種）			晩播（7月1日播種）			標播（6月2日播種）	
系統名または 品種名	シュウ レイ	エン レイ (対照)	タチ ナガハ (参考)	シュウ レイ	エン レイ (対照)	タチ ナガハ (参考)	シュウ レイ	エン レイ (標準)
成熟期（月日）	10.08	10.03	10.11	10.18	10.13	10.21	10.08	10.02
主茎長（cm）	70	75	68	56	58	56	63	59
最下着莢節位高（cm）	20	18	20	18	18	19	20	14
生育中の障害	微	少	微	微	微	微	無	微
倒伏	微	微	少	微	微	少	無	無
青立ち	微	微	少	微	微	少	無	無
子実重（ka/a）	35.7	32.3	38.0	37.1	36.4	40.6	35.5	34.9
対照・標準対比（%）	111	100	117	102	100	112	102	100
百粒重（g）	39.0	33.1	37.1	40.2	34.0	38.4	32.4	29.5
障害粒の程度								
紫斑	無	無	無	無	微	無	無	無
褐斑	無	少	微	無	微	微	無	無
裂皮	微	微	少	無	微	無	少	少
しわ	微	少	少	微	微	微	微	中
品質	中上	中中	中中	中上	中上	中上	上中	中上
粒形	扁球	扁球	扁球	扁球	扁球	扁球	—	—
粗蛋白質含有率（%）	44.2	45.2	41.5	45.9	47.4	42.9	45.2	45.8

注)粗蛋白質含有率は近赤外分析法による測定値(乾物当たり%、窒素蛋白質換算係数6.25)

3 主要特性

項 目	シュウレイ	エンレイ	タチナガハ
葉 形	槍型	先鋭卵形	三角型
病害虫 抵抗性			
ダイズモザイク病	強	中	中
ダイズシストセンチュウ	弱	弱	弱
立枯性病害	やや弱	弱	やや弱
紫斑病	やや弱	中	強
加工適性			
豆腐	適	適	可
煮豆	適	可	適
味噌	適	適	可

3 栽培地域（平成28年産）

富山県 789ha 島根県 35ha 長野県 5ha

4 栽培上の留意点

・ダイズシストセンチュウと黒根腐病（立枯性病害）に対する抵抗性がないので連作を避け、発生したことがある圃場へは作付けしないでください。

5 遺伝子組み換え技術の利用の有無 無

育成場所：長野県野菜花き試験場（平成22年育成）
 問い合わせ先：長野県野菜花き試験場・畑作部
 tel：0263-52-1148、fax：0263-54-6340